

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・法人理念や法人目標から部署目標を作成し、個人目標に落とし込んで具体的なケアの統一を図っています。・理念を基に一人一人に合ったケアを月1度のカンファレンスで全職員が情報を共有しケアの統一を図っています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・町内会に加入し祭り、盆踊り、清掃、防災訓練等に参加しています。・朝のゴミ捨てなどで地域の方との挨拶を心掛けています。・利用者の意向を伺い馴染みのある場所や、地域の行事に参加したりしています		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・地域学生の職場体験、看護師、介護士の実習の受け入れ、ボランティアの受け入れを行っています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・利用者が必ず参加しています。・事業所の取り組みや、利用者の日々の様子を写真を見ながら報告し、意見、要望、感想から今後のサービス向上に努めています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・市の介護相談員が毎月訪問されており、日頃の様子を見ていただいています。 ・市の担当者には困難ケースや事故報告などを管理者が定期的に報告し、助言をいただいています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・日中は施錠しておらず、安全面を配慮したうえで支援できるようにしています。・法人が開催する勉強会に参加して理解し実践につなげています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・法人内の勉強会等で理解し、ケアを振り返り常に見直しています。・年1回ストレスチェックを行い分析結果を個々で把握し虐待につながらないように注意をしています。		

己	自	部	外	項目	自己評価		外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8				○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・制度を利用対象者がおらず、全員が把握、理解している訳ではないが、資料や勉強会に参加するように取り組んでいます。			
9				○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・契約時には、事業所のケアに関する考え方や取り組み、退居を含めた対応可能な範囲について説明を行っています。・改定時は説明会開催やお便り等で説明し、理解・納得を図っています。			
10	(6)			○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時にはご家族に日々の様子を伝え要望を確認しケアプランに反映させています。・意見用紙を渡し帰る際に玄関設置してある意見箱へ出して頂くようにしています。			
11	(7)			○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・管理者は毎月の職員会議、日々の職員同士で要望、意見を確認し、部署目標や個人目標へ反映しています。・年1回法人へ自己申告書を提出し職員の希望や意見を伺っています。			
12				○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・年2回人事考課実施し、目標達成に向けお互いが目標を共有しています。・定時退社できるようにムリムダムラを洗い出し改善しています。職員間のトラブル等起きない様に早め早めの声掛け、雰囲気づくりをしています。			
13				○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新人教育ファイルに沿って先輩職員がOJTで指導しながら互いに学んでいる。法人内学習会には日程調整や勤務調整をしている。・外部研修はスキルに応じて参加している。			
14				○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他事業所の見学や研修の受け入れ(リーダー研修実習生等)GH協会主催の研修も計画しており同業者で集まり研修会やネットワーク作りをしています。			

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・事前面談で本人、家族と一緒に話し合い要望や生活する上で不安なことを伺い、入居1か月間は施設に慣れて頂くためにこまめな声掛け手厚い介護を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・見学対応手順書を作成しており職員が統一した対応が出来る様にしています。・ご家族が抱えている不安や要望は事前のインテークや見学時、契約時に伺い話し合っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・インテーク時に必要な支援を見極め契約時に他のサービスも含め家族と最善の支援が出来る様にしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・「私の暮らし方シート」を活用し本人のこれまでの生活癪を把握し本人の思いや不安や喜びなどを知ることにも努め、暮らしの中で分かち合い共に支え合える関係づくりに留意しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・ご家族様来所時に日頃の様子を伝えていきます。今までの生活癪を情報シートより把握し普段の会話、家族より伺ったことをケアの参考にさせて頂いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・誕生日は特別な外出、普段の買い物時に馴染みのあるお店、地域にで掛けるようにしています。友人の面会も受け入れています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・個人の個性、性格を把握し食事の席を決め、職員も一緒に食べながら会話のきっかけを作るようにしています。・個々の得意分野を把握した余暇を提供し、他の利用者様と一緒に出来る環境作りをしています		

己	自	部	外	項 目	自己評価		外部評価		
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容		
22				○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・サービス利用が終了した方へ交流のあった利用者と一緒に面会に出かけています。				
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント									
23	(9)			○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・普段何気ない会話や関わりの中で本人の希望、意向を聞きだす声かけをして把握に努めています。				
24				○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居時に暮らし方シート(生活歴を記した用紙)を家族に書いて頂き、ケアの参考になっている。普段の会話の中で本人より聞き出す声掛けをしています。				
25				○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・出来る事できないことを日々の生活の中で観察をし職員間で電子カルテや、メモ等に記録をして情報を共有しています。日々変化をする心身状態、有する力の把握に努めています。				
26	(10)			○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・日々の生活の中で本人にとってのニーズを分析をし介護計画を立てています。全職員でケアカンファレンスを行い、ケアの統一を図っています。・新たなニーズは職員間でアイデアを出し合い現状に即したケアを導き出しています。				
27				○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・日々のケアは電子カルテで共有し、ケアプランのチェックをしています。 ・その他気になること等は高等申し送り、できていることできていないことを見直しケアカンファレンスで報告しています。				
28				○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・急な外出、外泊にも臨機応変に対応しています。 ・一人一人の出来る事できないことを把握しその時々にあった余暇を提供しています。・空床SSのサービスも計画しているが、今のところ利用の機会がない。				

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・日々の買出し、近所の床屋、回覧板のお届け、ボランティアによるイベントなど地域との交流に参加できるよう支援しています。 ・毎月の介護相談員訪問で日々の暮らしについてコミュニケーションを取っています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・入居時に要望を伺い、かかりつけ医の受診ができる様にしています。・訪問診療や受診時には様子、体調の変化等を伝達用紙に記載し伝えるようにしています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・体調や些細な変化を見逃さない様に、看護職に申し送りしています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	・情報シート、情報提供書を作成しており緊急時、入院時すぐに持ち出せるようにしています。・早く退院できるように家族と相談し本人の情報や退院後のサービス計画について話し合い支援しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・入居時に終末期のあり方についてご家族と話し合い希望をお聞きし段階ごとに家族や本人がかかりつけ医と相談し、事業所でのケアの方針の共有をしています。・重度化した場合、系列の特養へのサービス変更することが多くなっています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・緊急時対応手順書を作成しており急変や事故発生時に備え定期的に人形を使用した訓練を実施しています。・急変や事故に対してのフィードバックを看護師を踏まえて職員全員が行っています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・地域の防災訓練や、ホーム内の避難訓練を定期的実施しています。・法人で防火管理委員会があり、災害に備えた備えを進めており、安否確認訓練で、職員一人一人の被害状況を確認出来る様になっています。		

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・トイレや入浴等、目立たず、さりげない声かけ(耳元)や案内に配慮しています。言葉かけは丁寧にするようにしています		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	一人一人の状態に合わせ声掛け対応を職員間で統一をしそばに寄り添い、目を合わせ、希望を聞くようにしています。・自己決定のできない方には選択枝の提案をし、自己決定の場面作りをしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	・一日の流れはありますがその人のペースに合わせ臨機応変にその人の気持ちを尊重したケアをしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	・近隣の床屋へ出かけています。・起床時気温、季節に合った服を本人と一緒に考えさせて頂いています。鏡を見ながら髪を整えたり、髭を剃ったり、しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・毎日、献立作り、買い出し、準備、調理、片付けを一緒になって行っています。食べたいものを伺ったり季節の食材を使って一緒にメニューを決めたりするように努めています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・1人1人に合った食事量を配慮しています。また、能力や状態に合わせた食事形態の配慮をしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・年1回歯科検診を受け歯科医からの助言をもとに、毎食後、声をかけ口腔ケアを行って頂いています。出来ていない方も時間を置いて行って頂けるように声をかけています。		

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・各自の排泄状況を把握し個別排泄手順書を作成し統一したケアが出来るようにしています。・認知機能の低下と共に排泄の失敗も多くなりますが傷つけないよう配慮と声掛けをしています		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・食事に玄米や大麦を混ぜたり、乳酸飲料、果物等をバランスよく提供し改善、予防に努めています。又看護師と常に連絡、相談をし改善に努めています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・入浴日を決めず本人の希望を確認しお誘いしています。入浴は全身チェックの出来る機会でもあるので安全安心して入って頂くと共に褥創、爪の観察を行っています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・1人1人体調を表情や行動から観察し希望を伺い日中でも休める様に支援しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬手順書に添った服薬支援を徹底しています。状態の変化を家族、かかりつけ医、看護師に報告し薬の調節をしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・得意分野で力を発揮して頂けるように作業をお願いし、労いの声掛けをしています。畑で野菜の種、苗を植え育てて収穫の喜びを一緒に感じて頂ける様に支援しています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・近くのスーパーへ毎日の食材を買いに出かけています。季節に応じて、初詣、お花見、紅葉見学、地域の祭礼等出かけています。個々で出かけたいたところがあれば職員と一緒に出かけられるように配慮しています。		

己	自	部	外	項目	自己評価		外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50				○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・個々のお小遣いに関しては施設で管理させて頂き、買物の際にはご自分でレジの方へお支払いし職員がお手伝いする形でサポートしています。			
51				○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・電話の希望があれば使用できるようにしています。手紙のやりとりや、年末には年賀状を書いて頂いています。日常の様子を写真に撮り毎月お便りに様子を掲載して伝えています。			
52	(19)			○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・共有スペースは間仕切りを活用し、各自の活動に応じで配慮しています。・季節の花を花瓶に生けたり、色・光・陰・広がり・匂い・味など五感を刺激する配慮をしています。・消臭効果のあるミョウバン水の使用と換気で匂いの配慮をしています。			
53				○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・共有空間で他の人の気配を感じながら1人になれるスペースの確保を配慮しています。ソファ、椅子にこだわらず床(畳敷)に座布団を用意し座って頂ける様にしている			
54	(20)			○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・年末には家族を招き、居室の整理、大掃除を行っています。・家具やタンス、ベッドを思い出のある物、馴染みのあるものを持って来て頂き、利用者の居心地の良さに配慮しています。			
55				○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・居室入口には明記、目印になるものを飾っていません。廊下にはトイレの看板を設置し迷わない様に工夫しています。・心身機能の状態の変化に合わせPT,ST等の協力を得て最善な支援が出来る様にしています。			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

己 自部 外	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	・「ここでよかった」と思っていただけけるケアを目指し、理念に基づいたケア、支援をおこなっています ・研修、勉強会の場で職員全員が学ぶ機会を持ち、共有しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・お祭りや町内行事には積極的に参加し、町内だけでなく市内であるときも参加しています。 ・1人ひとりの顔なじみや馴染みの喫茶店やスーパーに出掛けています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	・実習生や外部の研修生を受け入れてしています。 ・運営推進会議には町内の会長さんも参加し、事業所について説明しています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・利用者も必ず参加し意見交換や発言の場を設けています。 ・包括職員、市役所職員に運営推進会議などを通じて、写真を見ながら暮らしや取り組みなどを報告しています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	・市町村担当者へ利用者の暮らしぶりやニーズの具体化を伝え連携を深めています ・市の介護相談員さんが毎月訪問し、直接利用者と話を伺って頂ける機会があります		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・施錠は行わず自由に入出入りできる玄関として拘束なく抑圧感のない暮らしに取り組んでいます ・勉強会参加できなかった職員にも、学びを共有できるよう職員会議の場でついています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・高齢者虐待防止関連法について学習し、職員のストレスが利用者に影響しないように職員の心のケアやストレスにも気をつけています。		

己	自	部	外	項目	自己評価		外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8				○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・成年後見制度を学んでおり、必要と考えられる利用者が活用できるように関係者と話あうようにしていますが、現在は利用対象者がおりません。			
9				○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	・入居前に不安や疑問等を十分に表せるような働きかけや契約内容の説明を丁寧におこない、納得を得た上での契約をおこなっています。			
10	(6)			○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	・面会時にはご家族に日々の様子を伝え要望を確認しケアプランに反映させています。・意見用紙を渡し帰る際に玄関設置してある意見箱へ出して頂くようにしています。			
11	(7)			○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	・管理者は職員の意見や提案を聞く機会をもち、職員の声に耳を傾け、活かしています。・1対1で話しをする機会があり、管理者に意見を言うことができます。			
12				○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	・運営者や管理者は給与水準、労働時間への要望はないか契約更新や賞与査定の際に話す機会を設け納得いくまで話し合いをしています。・年1回、部署を超え上層部の方々に自己申告書を提出しています。			
13				○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・研修に出席しやすい勤務配慮があり、力量に応じた内外研修参加ができています。・月に1回以上の勉強会が実施されており、部署内で最低でも1人は参加するようにし、共有できています。			
14				○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・他事業所の見学や研修の受け入れ(リーダー研修実習生等) GH協会主催の研修も計画しており同業者で集まり研修会やネットワーク作りをしています。			

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・事前面接に現場職員が出向き、不安を傾聴し、記録で共有しています。・本人の不安な思いを受け止め手厚いケアを実施し、一日も早くここでの暮らしに安心感を持って暮らしていただけるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・グループホーム見学時から家族が求めているものを理解し、事業所としてはどのような対応が出来るか事前に話あっています。・電話対応にはマナーがあり手順書をもとに定期的にロールプレイをおこなっています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・相談時、本人や家族の思いや状況を確認し改善に向けた支援を提案できるよう、本人が今何に困っているか、どうしたらここでの暮らしに慣れるかを家族と考えケアに取り入れています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・支援する側、される側という意識を持たず、お互い共動しながら和やかに過ごせる場面づくりをしている。・人生の先輩あるご利用者であることを忘れず、教えて頂く姿勢を持って支援しています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・自叙伝を活用し各自のバックグラウンドを理解しケアに臨んでいる。・本人と家族との関係性がより良い関係になれるようケアプランへ組み込みご本人と一緒に支える内容を取り入れています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・本人や家族から昔行っていた場所を聞き、お連れしている。・生活習慣を尊重し、命日にはお墓参りを続けている方もいる		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・利用者の心身の状態や気分、感情の変化を日々常に注意深く見守っています。・気の合う方そうでない方等、その都度席の配慮をしています		

己	自	部	外	項 目	自己評価	外部評価		
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22				○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・退去された方に面会に行ったりご家族にお会いした際にはお話ししたりグループホームに来て下さったり関係を続けています。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
23	(9)			○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・意思疎通が困難な方も、言葉や表情などから真意を推し量ったり、ご家族からアドバイス頂くようにしています。・日々の関わりの中で本人の思いを引き出し、記録に残し全員で共有しています。			
24				○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・入居前情報、自叙伝を使い今までの暮らし、馴染みの暮らし方を度々確認しています。・本人や家族、馴染みの店などからその方の生活歴やライフスタイルを探っています。			
25				○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・できないことよりも出来ることに注目し、その方の把握に努めています。・24hシートにはその方の一日のおおまかな時間の流れやケアの留意点があるが、その日の本人の様子を把握し変更しています。			
26	(10)			○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・刻々と変化する本人や家族の状況に月1回カンファレンスし、職員全員で意見交換を行いケアに反映させています。・サービス担当者会議は本人家族も参加し要望を確認しています			
27				○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	・本人の言葉やエピソードを言葉のままに記録し、偏りのない正確な情報を共有しています。・食事量や排泄状況の記録を個別にしています。法人内の専門職とも連携し相談ができています。			
28				○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	・急なご家族からの外出、外食希望に臨機応変に対応しています。・指ヨガやフラワーアレンジメントなどボランティアの方が定期的に来ていただいています。			

己	自	部	外	項目	自己評価		外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29				○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	・過去に実習で来て下さった近所の方がボランティアとして月2回来て下さっています。・市のイベントやボランティアを受け入れ、地域の施設利用を積極的におこなっています。			
30	(11)			○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	・伝達用紙や受診時には手順書があり、それを見れば新人でも動けるようになっています。・今までのかかりつけ医に受診されている方もいます。			
31				○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	・「いつもと違う状態変化」に気付けるようにし、体調や些細な変化を見逃さない様に早期発見に努めています。・月に2回の訪問診療にて医師へ伝えていきます			
32				○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	・入院時早期退院ができるよう、医療関係者と管理者や看護師が連絡を取り合い、介護職員も職員が本人の状態を直接確認へ出向くようにしています。			
33	(12)			○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	・長時間ベッドで横になる時は体位変換し褥瘡を予防しています。・終末期や重度化に伴う事前指定書は都度変更が可能であり、自分たちができることやできないことを説明し、ご家族と共に終末期の在り方を確認しています			
34				○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	・救急時の対応や手当や蘇生術のロールプレイを定期的におこない、その都度手順書を見直している慌てず確実に適切な行動がとれるように訓練を行っています。			
35	(13)			○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	・地域の防災訓練や、ホーム内の避難訓練を定期的実施しています。・法人で防火管理委員会があり、災害に備えた備えを進めており、安否確認訓練で、職員一人一人の被害状況を確認出来る様になっています。			

己	自	部	外	項 目	自己評価	外部評価		
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている			・スピーチロック、使用してはいけない言葉を理解し、職員間の口頭での申し送りの際には場所、声の大きさを考えています ・守秘義務を理解し責任ある取り扱いをしています			
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている			・毎日の献立をご利用者と一緒に考え思いや希望を大切に受け取り入れています。「○○をお願いしてもよろしいでしょうか。」とお願いし、無理強いはしないようにしています。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している			・一人ひとりのペースを大切に、利用者が急がないように努め、それに合った対応を心掛けています ・24時間プラン表がありその人その人のペースに重点をおいて支援しています			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している			・毎朝鏡の前に立っていただき整容を本人にて行って頂いています。 ・地域の床屋へ出向き要望をご本人でお店の人と話し決めてカットやカラー顔そりをされ、その人らしさを保てるようにしています。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			・毎日、献立決め、買い物、調理、盛り付けを職員と利用者一緒に行っています。 ・嚥下状態が不安な方には理学療法士に指導していただき、姿勢にも注意し、それを職員は共有している			
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			・水分確保のために毎時00分を目安に好みの飲み物を提供をし、各自の体調と食事摂取量を記録し食べやすいものを工夫しています ・なじみの食器や本人に合ったサイズの食器を使用し一人ひとりのニーズに合わせています			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている			・毎食後口腔ケアをおこなっています。 ・力、状態に応じた道具の選別、お一人おひとりに合わせてお手伝いさせていただいています。			

己	自部外	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	・排泄をうまくできない利用者には羞恥心に配慮しながら声をおかけし、排泄のリズムを整えていただけるよう工夫しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・便秘の方には牛乳や繊維質の多い食材を使っています・毎日ヤクルトを提供していますが、便秘気味な方が多いので様々な水分を用意し日中は毎時00分をめどに提供しています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	・一人ひとりに合わせた入浴の仕方、時間を考えお誘いしています。・本人の「入りたい。」というタイミングが合わない時は時間をおいたり、別の日にまわして一人ひとり合わせています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるよう努め、個別に応じた休息の時間を確保しています ・無理なく生活できるように昼食後、休息している方もいます。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・服薬介助の時は誤薬がないように服薬手順書のもとおこなっています。・1人ひとりが服薬している薬の目的や副作用が分かるように手の届くところに処方箋があり調べるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・季節に合わせたイベントを行い、得意分野で一人ひとりの力を発揮してもらえるようにしています。・お一人おひとりの暮らして来た地域へ出掛け地域の方とお話する機会を1人ひとり持って頂いています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・近所のスーパーへ日頃行っているが、利用者のなじみの地域へ買い物へ出掛けています。・毎朝の散歩や買物以外に、普段の話の中で引きだした本人の希望を把握し戸外へ出掛けています		

己	自	部	外	項 目	自己評価		外部評価	
					実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50				○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・家族からお金を預かり、事業所がお小遣いとして管理されている方でも、ご自分の買い物をされる時は、なるべく自分で払っていただけるよう声をかけています			
51				○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・毎月のお便り以外に年賀状や暑中見舞いを出しています。・毎週1回電話でお話される時間をもってみえる方もいます。・字の書ける人、色の塗れる人、それぞれの力を活かし手紙を書いています。			
52	(19)			○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・人の動きに影響を受けやすいため仕切りを活用して落ち着ける場所を作っています。・大きな音が立てないよう配慮しています。リラックス効果を期待しアロマをたいたり、心地よい音楽を活用しています。			
53				○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	・利用者同士の関係に配慮し、間仕切りなどを使い居場所をつくっています。・玄関ホールにはソファや花を置き居心地の良い空間であり、それぞれの好みの場所を利用し利用者同士の関係への配慮をしています。			
54	(20)			○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	・ご家族がご本人にとっての馴染みの家具、ぬいぐるみなどを持参され1人ひとりに合った居室としています。			
55				○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	・1人ひとりに合った身体機能、理解力に配慮し、目印をつけたり、物の配置や向きを検討し取り入れています。・万が一事故が起こってしまった場合も原因分析を全員で行い、再発防止に努めています。			

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2393200072		
法人名	社会福祉法人せんねん村		
事業所名	せんねん村グループホームとみやま		
所在地	愛知県西尾市富山町銭成畑9番地2		
自己評価作成日	H30年2月1日	評価結果市町村受理日	平成30年5月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&ligvosyoCd=2393200072-00&PrefCd=23&VersionCd=02
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社ユニバーサルリンク
所在地	〒463-0035 愛知県名古屋守山区森孝3-1010
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

〇「せんねん村は地域の皆様の暮らしを支え共に歩み続けます」「こころのびのび・からだいきいき・いのちきらきら 大切にしますあなたの個性」の使命・方針に基づき、『今日も一日良い日でした』と言っていただけるようなサービスを提供しています。〇利用者の生活習慣の継続や出来ることの維持を心がけ、一人ひとりの力や要望を受け止めた支援を心がけています。〇建物の周囲には、スーパーや薬局、神社など徒歩圏内にあり、毎日の散歩や買物などで挨拶を交わしたり、地域住民としての暮らしを大切にしています。〇建物内部は、木をふんだんに使用し、廊下やリビングなどにも畳を使用して、温かみのある雰囲気です。〇法人としてのバックアップ体制が整っており、「育ち合い」の心で職員一人ひとりの力量に応じた目標に取り組み、スキルアップややりがいを得ることが出来ます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに〇印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに〇印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらい <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらい <input type="radio"/> 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2. 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3. 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3. たまにある <input type="radio"/> 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2. 数日に1回程度 <input type="radio"/> 3. たまに <input type="radio"/> 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている <input type="radio"/> 2. 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3. あまり増えていない <input type="radio"/> 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2. 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2. 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2. 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3. 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4. ほとんどいない			